

流 福 審 第 ● 号
令和 5 年 10 月 10 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市福祉施策審議会
会 長 鎌 田 洋 子

流山市成年後見制度利用促進基本計画の策定について（答申）
令和 5 年 6 月 1 日付け流社第 154 号で諮問のあったこのことについて、下記のとおり答申します。

記

認知症高齢者の増加や障害者を取り巻く課題の複雑化、多様化に伴い、成年後見制度の重要性が高まっています。意思決定に支障のある方が、安心していつまでも自分らしく生き生きと暮らしていけるよう努めてください。

- 1 権利擁護支援を必要とする人が成年後見制度を適切に利用できるよう、より一層制度及び相談窓口の周知に取り組んでください。
- 2 地域連携ネットワークにおいては、関係機関の連携を強化し、早期の段階から相談に繋がり、必要な制度を利用することができるよう、既存の相談支援機関の機能を活かした体制づくりを進めてください。
- 3 成年後見制度をより利用しやすくするため、後見人への報酬助成制度の継続と周知、内容の充実に取り組んでください。